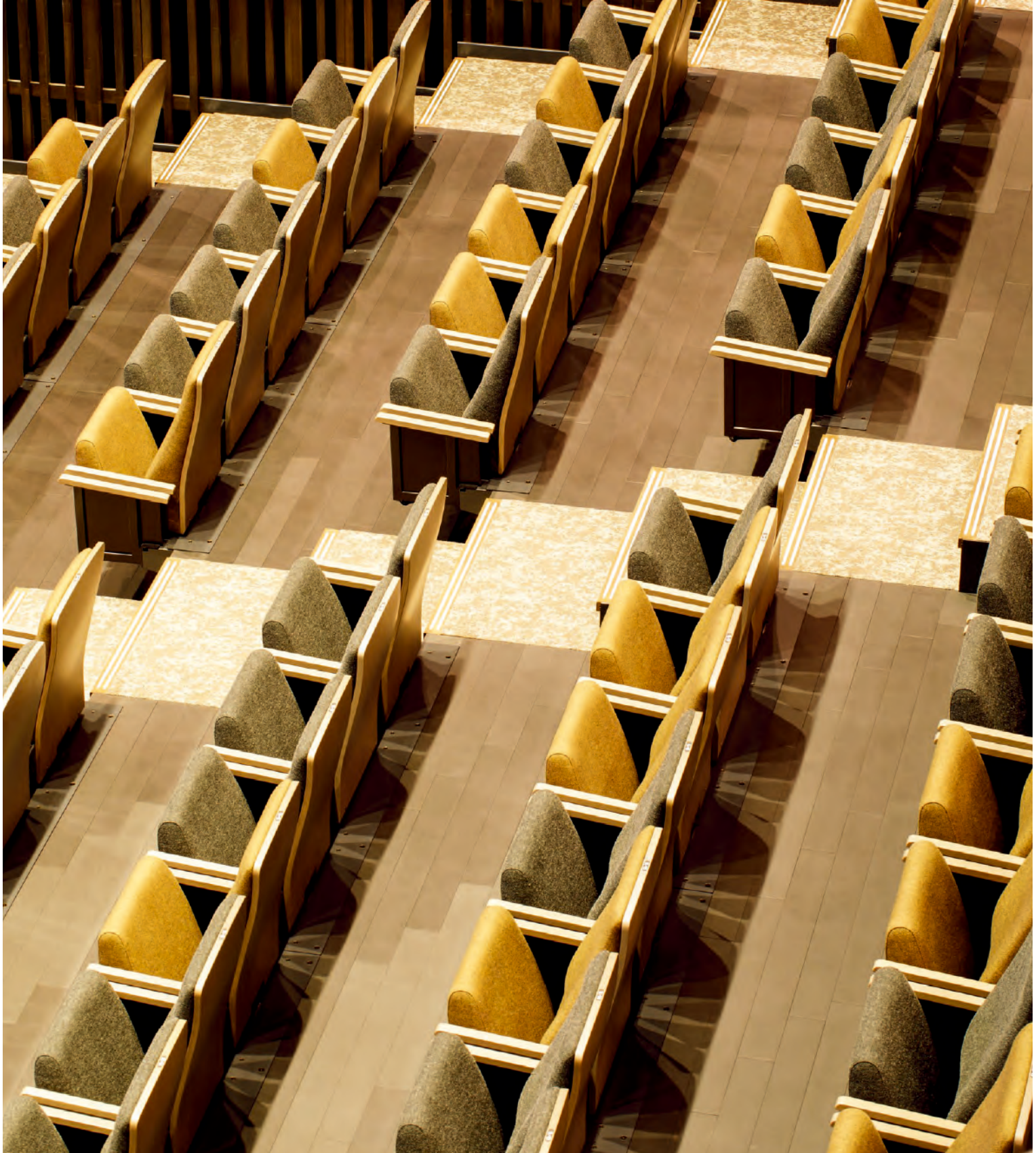


Mite Mite

2024- spring
VOL.

79

「人と、街と、劇場をつなぐ。」 オーバード・ホール情報誌



2024-2025 LINE UP



A 4/20 SAT・6/2 SUN・8/4 SUN
11/10 SUN・2025年1/26 SUN
3/15 SAT [全6回]
越中ホール寄席 2024
立川志の輔独演会
立川談春独演会
柳家三三独演会
春風亭一之輔独演会
古今亭菊之丞・古今亭菊兄弟会
三遊亭兼好独演会
会場：オーバード・ホール 中ホール

B 5/18 SAT・19 SUN
フロリアン・ゼレル2作品連続上演
『Le Fils 息子』
『La Mère 母』
会場：オーバード・ホール 中ホール

C 6/2 SUN
大和証券グループ Presents
佐渡裕指揮
新日本フィルハーモニー交響楽団
with 角野隼斗
会場：オーバード・ホール 大ホール

D 6月～2025年3月 [全6回]
市民のためのランチタイム
ジョイフル コンサート
会場：富山市民プラザ
オーバード・ホール 中ホール

E 7/5 FRI
AUBADE HALL Presents ブラネライブ
尾崎裕哉『Starry Night Concert』
会場：富山科学博物館 プラネタリウム

F 7/13 SAT
めざましクラシックス in とやま
会場：オーバード・ホール 大ホール

7月～2025年3月 [全4回予定]
オーバード・ホール×FMとやま
ヨリミチマチネ コンサート
会場：オーバード・ホール 中ホール

G 8/7 WED
音楽劇『死んだかいぞく』
会場：オーバード・ホール 中ホール

H 8/8 THU～11 SUN
多言語・多文化交流「パフォーマンス会 in 富山」
とやまPCAMP2024
会場：富山市民芸術創造センター
オーバード・ホール 中ホール

I 8/25 SUN
人形劇俳優“たいらじょう”の世界
『お花のハナツク物語』
会場：オーバード・ホール 中ホール

8月開催予定
第28回 オーバード・ホール
劇場ツアー
会場：オーバード・ホール 大ホール

8月開催予定
夏休みスタインウェイピアノ体験
「サマ★スタ2024」
会場：富山市民芸術創造センター

J 9/4 WED
宝塚歌劇 月組 富山公演
会場：オーバード・ホール 大ホール

K 9/21 SAT・11/9 SAT
桐朋アカデミー・オーケストラ 特別演奏会
会場：オーバード・ホール 大ホール

L 9月開催予定
AUBADE HALL Presents
コミュニティ・アーツ・ワークショップ2024
会場：富山市民芸術創造センター
オーバード・ホール 中ホール

9月～12月週末 [全12回予定]
オーバード・ホール アウトリーチ企画
ウィークエンド・コンサート2024
会場：市内各地区

M 10/12 SAT
ザ・キングズ・シンガーズ
会場：オーバード・ホール 中ホール

N 10/12 SAT・13 SUN
トヤマ・パフォーミングアーツ・
フェスティバル2024
会場：富山市民芸術創造センター

11/16 SAT
SUPER BRASS STARS
XXL EDITION
会場：オーバード・ホール 中ホール

O 11/17 SUN
スペイン国立バレエ団2024 日本公演
会場：オーバード・ホール 大ホール

P 11/30 SAT・12/1 SUN
サーカス・シルクール
「Knitting Peace」
会場：オーバード・ホール 中ホール

Q 12/21 SAT
北日本新聞創刊140周年記念
第60回 第九交響曲“歓喜の夕べ”2024
会場：オーバード・ホール 大ホール

＜2025年＞
1月～2月開催予定
第35回 富山美術作家連合会展
会場：富山市民プラザ

R 2/15 SAT
AUBADE SYMPHONIC WAVE 2025
会場：オーバード・ホール 大ホール

2月開催予定
第21回 オーバード・ホール
ベーゼンドルファーピアノ体験
会場：オーバード・ホール 大ホール

S 3/1 SAT・2 SUN
新口イタル大衆舎×KAAT vol.2
『花と龍』
会場：オーバード・ホール 中ホール

T 3/22 SAT・23 SUN
楽市楽座
会場：オーバード・ホール 大ホール/中ホール

※情報は2024年3月26日現在のものです。
変更となる場合があります。また、このほかに
も後日発表となる公演がございます。
※詳細・最新情報はオーバード・ホール公式
HPをご確認ください。

岡本圭人

Keito Okamoto interview

インタビュー

自分の身体と心を

〈役〉に貸してあげる



現代フランス演劇界を牽引する稀代の劇作家フロリアン・ゼレールの家族三部作『La Mère 母』『Le Fils 息子』の連続上演が、いよいよ5月にオーバード・ホール中ホールで実現。若村麻由美×岡本圭人×岡本健一が、全く異なる2作品を同じ役名で演じる家族の在り方、親と子の苦悩、孤独とは…。誰もが共感せずにはられない話題作の上演に先駆けて、息子 ニコラ役の俳優岡本圭人が、舞台への想いを語ってくれた。

岡本圭人 Keito Okamoto

音楽活動に加え、バラエティ・舞台・TVドラマ・ラジオ・CMなどマルチに活躍。2018年から20年まで、アメリカ最古の名門演劇学校であるアメリカン・アカデミー・オブ・ドラマティック・アーツへ留学。卒業後、『Le Fils 息子』(21)でストレートプレイ初舞台・初主演を飾る。近年の主な出演作に、【舞台】『チョコレートーナツ』『ハムレット』(23)、『4000マイルズ〜旅立ちの時〜』『盗まれた電撃パーシー・ジャクソン ミュージカル』『M.バタフライ』(22)、『Le Fils 息子』(21)、【ドラマ】『大奥Season2』(23・NHK)、『リズム』(23・CX)、『育休刑事』(23・NHK)など。1月29日、舞台『ラヴ・レターズ〜 2024 New Year Special 〜』に出演。

—初めての富山の印象はいかがですか？

まだ駅周辺しか立ち寄っていませんが、とてもきれいな街ですね。中ホールは、どの客席からも舞台がよく見え、作品の世界に入り込みやすい劇場だなと感じました。富山には演劇が好きな方、熱い想いを持って舞台をやっている方が多いと聞いたので、今から身が引き締まる思いです。やはり演劇はお客さんがいて完成するものなので、富山のみなさんとどんな舞台が創れるのか楽しみです。

—見どころを教えてください。

今回の公演のおもしろい点は、2作品同時上演ならではの楽しみ方ができることです。フロリアン・ゼレールは、観客の想像をかき立てるような「空白」を大事にしている劇作家で、全く異なる物語なのですが『La Mère 母』を見ることでより息子の気持ちが理解でき、『Le Fils 息子』を見ることでより母の気持ちがわかる。なぜそうなったんだろう、どんな想いなんだろうといった「空白」を補い合ってくれます。どちらも自分の家族を投影できるストーリーなので、どんな方にも共感していただけるはずです。

—『La Mère 母』は日本初演ですが、同じ役名の青年ニコラを演じる上での違いはあるのでしょうか？

僕は自分がその役になるというより、「自分の身体と心を貸してあげる」という感覚で演技をしています。だから、この役にならなきゃではなく、自分自身を一度全部空っぽにして舞台上ではニコラの人生を生きる。今回の2作品は役名は一緒ですが、年齢も過去も家族構成も全く違うので、その異なる部分をうまく表現したいと思っています。

—再び『Le Fils 息子』で青年ニコラを演じることには、どんな想いがありますか？ また、何か変化を感じていることはありますか？

『Le Fils 息子』は、2021年に台詞劇として初舞台を踏んだ思い入れのある作品なので、再演の話聞いた時は心から喜びました。最も記憶に残っているのは、観に来てくれた友人が「上演してくれて本当にありがとう、心が救われた。これからの生き方を考え直すきっかけになったよ」と言ってくれたことです。「もしかしたらニコラのようなお客さんを救えるかもしれない」という思いで演じたので、この言葉に僕自身も救われ、感慨深い気持ちになりました。

初演から約3年間で色々な役を演じ、素晴らしい俳優さん、演出家の方々から多くのことを学んだので、その経験を活かしたいと思っています。今年1月に母役の若村麻由美さんと朗読劇『ラヴ・レターズ』で一緒にしたのですが、その時におっしゃっていた言葉がとても印象的で。若村さんはその朗読劇に1993年の初演から5回出演されていて、「30年前に初めて台本を読んだ時、2回目の時、そして5回目を読んだ時では全然違う解釈や表現ができ、人生経験が現れる」と。僕も改めて『Le Fils 息子』の台本を読んだ時に、前回とは違うところに心が刺さり「ああ、こういう物語だったのか」と新しい気づきがありました。だから、前回とは全く違った作品になるのではないかと考えていますし、その違いをどう表現できるか楽しみです。

～『Le Fils 息子』ストーリー～

両親の離婚後、学校にも登校せず一日中独り行かなくても過ごしていたニコラは、とうとう学校を退学になってしまふ。そんなニコラの様子を聞いた父親ビエールは、離婚・再婚後、初めて息子と正面から向き合おうとする。生活環境を変えることが、唯一自分を救う方法だと思えたニコラは、父親と再婚相手、そして年の離れた小さな弟と一緒に暮らし始めるのだが、そこでも自分の居場所を見つけれずにいた。

—父である岡本健一さん、若村麻由美さんとの再共演も話題になっていますね。本当の親子で舞台に立つお気持ちは？

父はどう思っているかわかりませんが、個人的にはとてもやりやすいです。本当の父親だからこそ全力でぶつかれて、何をしても絶対に受け止め返してくれる安心感があります。若村さんは、これまで様々な舞台で一緒にさせていただいているご縁のある女優さんで、私にとっての「演劇界の母」。本当の息子のように愛情深く接してくださる素敵な方ですね。

—演出家ラディスラス・ショラー氏の印象は？

日本初演の『La Mère 母』は、彼にとっても初めて演出を手掛ける作品で、素晴らしい演出家とゼロから一緒に舞台をつくることできて大変光栄です。自分が想像する2段階も3段階も上の解釈で作品を捉え、それを具体的に伝えてくださるので、自分の中でこうと決めつけるのではなく、いろんな可能性を広げながら彼が魅せた舞台の一部になれるよう頑張りたいです。

—この舞台を通して伝えたいメッセージとは？

実は、私も同じような質問をフロリアン・ゼレールにしたことがありまして。そしたら、「誰かにメッセージを届けるために書いたのではない。それはお客さんが観て感じるものだ」とおっしゃったんです。それを聞いて腑に落ちたというか、観ているお客さんに何かを伝えようとするのではなく、自分は自分のことに集中し、それに対してお客さんが感じ、何かを持ち帰っていただけたらいいなと思っています。

—最後に、富山のみなさんにメッセージをお願いします。

この舞台は、ぜひ親子で観に来ていただきたいです。本当の親子が舞台上の親子を演じることによって起こる奇跡もあれば、親子で観ることで起こる奇跡もあると信じています。家族に「一緒に行こう」なんて恥ずかしくて言い出しにくいかもしれませんが、ぜひ一組でも多くの親子に観劇していただけたら嬉しいです。

聞き手・文 大井久美子(ライター)

公演情報

フロリアン・ゼレール2作品連続上演

『Le Fils 息子』『La Mère 母』

- ◆作： フロリアン・ゼレール ◆翻訳： 齋藤敦子
- ◆演出： ラディスラス・ショラー
- ◆出演： 岡本圭人、若村麻由美、岡本健一、伊勢佳世
※『Le Fils 息子』のみ出演 浜田信也、木山廉彬

◆日時： 『Le Fils 息子』：2024年5月18日(土) 14:00開演

『La Mère 母』：2024年5月19日(日) 14:00開演

- ◆会場： オーバード・ホール 中ホール ※開場は開演の30分前
- ◆チケット： [全席指定・税込] ※U-25：鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。※未就学児入場不可。
各公演 S席：8,500円 A席：7,000円 U-25：3,000円

- ◆プレイガイド：アスネットカウンター ほか
★チケットのお求めはP11「チケット購入方法」をご覧ください。

まもなく開催！

～『La Mère 母』ストーリー～

アンヌはこれまで自分のすべてを捧げて愛する子どもたちのため、夫のためにと家庭を第一に考えて生きてきた。それはアンヌにとってかけがえのない喜びで至福の時間であった。そして年月が過ぎ、子どもたちは成長して彼女のもとから巣立ってしまった。息子も娘も、そして今度は夫までも去ろうとしている。家庭という小さな世界の中で、四方八方から逃げ惑う彼女はそこには自分ひとりしかいないことに気づく。母は悪夢の中で幸せだった日々を思い出して心の万華鏡を回し続ける――。

「多文化 × 芸術」ワークショップ レポート

オーバード・ホールでは公益財団法人国際文化フォーラム (TJF) とコラボして、芸術を通して多文化共生に触れるワークショップを2/9 (金) ~ 11 (日) に開催しました！ 留学生、一般の方、ファシリテートに興味のある実演者など、様々なバックグラウンドを持つ方が演劇やダンスで楽しく交流。多様であることの面白さ・豊かさを体感しました。笑いが絶えなかった現場の様子をレポートします！

2 / 9 (金)
多文化パフォーマンス交流会
中ホール ウォーミングアップ室

留学生対象。シアターゲームや身体を使ったアクティビティで交流しました。ネパール、スリランカ、バングラデシュ、中国にルーツを持つ21名と、日本語教員2名の合計23名が参加しました。



最初はみんなと挨拶！
様々な言語で『こんにちは』



2人でポーズを考える！
ファシリテーターもサポート



グループに分かれて、
立山やお寿司をつくりました！



参加者から「またやりたい！」との声

2 / 10 (土)
多文化演劇体験ワークショップ
富山市民芸術創造センター

大学生以上どなたでも対象。多様なアイディアをもつ14名が集まり、マイストーリー(経験や思い出)をもとにグループで短い演劇作品をクリエイションしました。



ウォーミングアップ
3人で2本脚をつくりました



グループでのクリエイションの準備
個人作業の時間



自分と向き合って書いた
「マイストーリー」をグループ内で共有



発表！
短時間で創り上げたとは思えないチームワーク

2 / 11 (日)
多文化ティーチングアーティスト
(TA) 研修 富山市民芸術創造センター

ファシリテートに興味のある実演者向け。12名の参加者が富山の多文化共生の現状とシアターエデュケーションについて学び、ファシリテートに対する考えを深めました。



宮田妙子さんによる講義
多文化共生とは？



自分がファシリテーターだったら、
ダンスのゲームをどう発展させるか、考案中



グループでのクリエイションから
発表まで行いました



フィードバック。どう参加者に寄り添うか…？
演劇やダンスのワークショップの目的とは…？

シアターエデュケーションとは… 演劇的手法を通して、アイデンティティの探求やコミュニケーション能力の習得を行うプログラム

撮影：柳原良平 提供：TJF

とやまPCAMP2024開催決定！ 14～19歳を対象に、演劇やダンスを通して交流し小さな作品を創りあげて発表する3泊4日のパフォーマンス合宿を開催します。アーティストのサポートのもと交流やクリエイションを通して、「ありのままの自分を表現し」「自分と異なる他者を受け入れ」「コミュニケーションを楽しむ」といった、多文化共生を体験します。◆日時：8月8日(木)～11日(日) ◆会場：富山市民芸術創造センター、オーバード・ホール 中ホール、富山県呉羽青少年自然の家(宿泊) ◆対象：富山または近隣地域に在住の14～19歳の方(海外に文化的なルーツを持つ方、自分に自信を持ちたい方、新しい仲間と作品を創ってみたい方、新たな自分に出会いたい方…大歓迎!!) ◆参加費：5,000円 ◆ファシリテーター：柏木俊彦、田畑真希、森永明日夏 ◆募集期間：4月26日(金)～6月30日(日) ★8月11日(日)の成果発表会の観覧者も募集予定！ ◆主催：公益財団法人国際文化フォーラム(TJF)、公益財団法人富山市民文化事業団、富山市

PCAMPとは…?



詳細・お申込み



Dタワー富山に 北陸発のフードホール 「GURUNAVI FOODHALL WYE」が 今夏オープン！

オーバード・ホール
中ホールとなり

(ぐるなびフードホールワイ)



オーバード・ホール 中ホールに隣接した、オフィス(2階～7階)と商業施設(1階)による複合テナントビル「Dタワー富山」が完成。商業スペースには、北陸初進出となる「株式会社ぐるなび」のフードホール「GURUNAVI FOODHALL WYE」をはじめ、「地域の食の発信 新たな『おいしい』に出える場所」を共通コンセプトとして、地域の人気店など6店舗の飲食店が7月開業予定です。観劇の前や後に、富山ならではの食事でお腹も心も満たせます。

「観る」も「食べる」も
ちょうどいい！

GURUNAVI
FOODHALL
WYE!

ご利用案内



オーバード・ホール 中ホールには、舞台以外にも様々な用途で利用できるスペースがあります。イベント会場としても使える開放的なウォーミングアップ室、日常的な創作活動ができる練習室、会議でも利用できる楽屋など、暮らしの中でも使いやすい空間がたくさん！なかでも、おすすめは極上の音楽が思う存分楽しめる「音楽鑑賞室」です。高品質のオーディオ機器や防音防振仕様はもちろん、鑑賞に最適な残響となるよう設計が施されています。また、この部屋のこだわりは音だけではなく、サウンドを聴くためにチョイスされた「スワンチェア」「エッグチェア」は、デンマークを代表する建築家 アルネ・ヤコブセンがデザインした椅子で、包み込むような座り心地が特徴。お気に入りのレコードを持ち込んでの鑑賞会など、みなさんの交流の場としては是非ご利用ください。

ラグジュアリーな音楽鑑賞室で、高品質な音を。

紅茶を味わいながら
ヴィンテージレコード
鑑賞にもちょうどいい！

「音楽鑑賞室」主な設備
レコードプレーヤー、フォノイコライザー
プリアンプ、パワーアンプ、スピーカー、SACDプレーヤー
※レコードなどの音楽素材の貸出はありませんので、各自でご用意ください。

「音楽鑑賞室」使用料(面積：約37㎡ 定員：10名)

9:00～12:00	2,900円	9:00～17:00		9:00～22:00
13:00～17:00	3,500円	5,500円	13:00～22:00	9,000円
18:00～22:00	4,300円			
				7,100円

オーディオセット：1回あたりの使用料2,200円。
冷暖房期間中は冷暖房費が別途かかります。
表示金額は消費税(10%)を含む総額表示です。

ご使用の申込：オーバード・ホール管理課 TEL.076-445-5620



自分と無関係の誰かなど、ひとりもない。

なんと温かくて痛く、寂しくて美しい物語なのだろうか。「人生は近くで見ると悲劇だが、引きで見れば喜劇である」という有名なチャップリンの言葉があるが、オール富山シリーズ第3弾の『ニューマドンナ』は、前2作よりさらにこまやかに、かつ意欲的に、人の営みの二面性を映し取ることに迫った。作・演出のタニノクロウはおそらく、人間が複数集まるとその傾向は濃くなると考えていて、それが凝縮する場所として今回、昭和テイストたっぷりの小さなスナックと、オンライン上のゲーム中継のコミュニティを選んだのだろう。タイトルこそスナックの店名に寄せているが、一見正反対に思える2つの場所を並行して見せることで、その試みは見事に成功した。

富山に暮らす人で意欲さえあれば、たとえ未経験でも、俳優、あるいは美術スタッフとして創作に関わることが出来るオール富山シリーズは、全国に数ある市民劇の中でも、演劇作品としてのクオリティでかなり高いレベルにある。けれども他と大きく違うのは、その土地に暮らす人々の生活をリアルに舞台上に持ち込みながら、同時に、人間という存在と時代への眼差しが、遙か俯瞰にあることだ。

とにかく今回唸ったのは、ふたつの場所のシンクロとズラしの見せ方だった。舞台上を半分に区切ってふたつの空間を並行して見せる仕掛けは、シリーズ前作『笑顔の砦 '20帰郷』でも実践されたが、同作が同じアパートの隣り合う2部屋で、それぞれに暮らす人達の様子が比較しやすかったのに対し、今作は、近所ではあるが離れた場所で間取りも全く違う。それなのに『ニューマドンナ』は、最初は並行にあった2本の線が、近付き、離れ、近付き過ぎてすれ違い、やがてゆっくりと重なっていく様子が、美術、俳優の動線、せりふ、照明などあらゆる手を使って、けれども密やかに遂行されていた。

向かって左はカラオケ付きの小さなスナック、右は、いわゆる“汚部屋”と呼ばれるようなアパートの一室。スナックは飲食店でアパートは住宅だが、程なく、どちらも仕事と生活が限りなく重なった空間であることが知らされる。スナックには常連と思しき女性が酔って寝てしまい、そのまま朝を迎えたことがすぐにわかるし、右のアパートで暮らすユカは外に出ることなく、インターネットで戦闘ゲームの中継や地下アイドル活動をしてその収益で生活していると知らされる。目立つ場所に大きなモニターが設置されているのは共通しているが、スナックのそれには従業員や客から慕われる桃子ママが楽しそうに

カラオケを歌う姿が映されるのに対し、アパートのそれには、殺伐とした風景のCGに、あからさまな上下関係が存在する会話が被される。それでも生理現象は同じで、トイレに行くタイミングは一緒だったりする。また同じ食事でも、ユカはカップ麺に大量の香辛料を入れたもので済ませるが、スナックではママがいていねいに仕込んだおでんが名物で、従業員の琴音もそれを楽しみにしている。けれどもユカも琴音もグミが大好きだ。

こんなふうに、ふたつの場所の「やっぱり違う」と「やっぱり同じ」が繰り返されるうち、小さな奇跡が起きる。ユカが「マドンナ」に来店するのだ。それは大きな奇跡にはつながらないし、そのあとユカの身に起きた事件を考えれば、奇跡と呼んでいいかもわからない。むしろ彼女が「マドンナ」に行かなければ良かったと考える向きもあるかもしれない。けれどもそのあと常連に囲まれて桃子ママが恥ずかしそうに歌ったUAの『プライベートサーファー』の歌詞は、ほとんど全てを失ってしまったユカに、ママが自覚もないまま届けようとした応援であり、いつかきっと何かの形で届くはずだという確信を、多くの観客はその頃にはもう抱いていたはずだ。なぜなら前述のように、ふたつの場所が、そこにいる人同士が無関係ではないことを、視覚で、聴覚で、イメージで、ずっと伝えられてきたから。

蛇足を承知で書き加えるなら、タニノの狙いはこの上演だけでは完結しておらず、この舞台を観た人の無意識に、自分と無関係の誰かなどひとりもないということを植え付けることではないかと考える。この作品で初めて演技をした人、初めてカナヅチを持って美術セットをつくった人が、もう演劇とは無関係ではなくなったように。何しろこの作品に仕込まれた時間は長く、範囲も広い。何気なく聞かれたおでんの出汁の引き方に対して、途中からママが何かに取り憑かれたように琴音に「焦がさないでね」「ラップしてね」と言い聞かせる様子から、隠れたテーマが“継承”であることは明らかで、しかも琴音は関西弁を喋っており、この土地の生まれではないことが伺える。市民劇でありながら違う土地の人物に継承する点に違和感を感じる人もいるかもしれないが、他の土地からやって来た人が心安らかに暮らせる場所を見つけられたなら、そここそが理想郷のはずだ。そしてこの土地を離れたユカが、いつか別の場所で桃子のような人に出会い、全く違う気持ちでグミを食べることが叶ったなら、その時、彼女の悲劇は喜劇に変わるだろう。

徳永京子 (演劇ジャーナリスト)



PHOTO REPORT

市民参加型演劇プロジェクト【タニノクロウ×オール富山】。第3弾「ニューマドンナ」の舞台写真やオフ会の様子をご紹介します。

特集サイトでは、別の角度から本作を考察した劇評もご覧いただけます▶



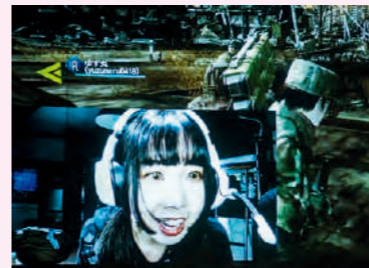
▲公募スタッフが3ヶ月以上かけて製作した緻密な舞台セット。小さな町の歓楽街にあるスナック「マドンナ」は女性客が多く、毎日常連客で賑わっている。



▲ゲーマー、コスプレイヤー、VTuberと演じ分けオンライン配信で生活費を稼ぐユカ。



▲時間をかけて丁寧に汁をとっておでんを仕込む桃子。



▲ゲーマーのユカ。乱暴な言葉遣いでアクションゲームを配信。



▲ママのために「マドンナ」の日常を映像に残そうと、小型カメラを取り付けるチーママの琴音。



▲コスプレ配信で、シーフードヌードルに一味唐辛子をたっぷり入れて食べるユカ。



▲ユカのアパートに入りする男。目覚めてベッドから起きると…。



▲ネオンや看板など、スナックの路地裏もリアルに再現された。



▲VTuberのユカは、優しく柔らかな声色で、語りかける。



▲桃子ひとりの「マドンナ」に何気なく入ったユカ。そして…。



▲「マドンナ」常連客たちの定番、おでん出汁で食べる素麺。



▲「マドンナ」に並んだボトルは、実際に富山にあるスナックが提供してくれたもの。



▲初めて開催した公式オフ会。スタッフ・キャストも揃い、観客と楽しく語り合った。



▲オフ会では、店主の粋な計らいで「桃子のおでん」がレシビどりに再現された。



▲細部までこだわったユカの汚部屋。散乱する衣装やウィッグの多くは、市民の方から提供していただいた。

主催公演情報

4/20 Sat 「越中ホール寄席 2024」立川志の輔独演会

当代之っての人気落語家が珠玉の話芸を披露する「越中ホール寄席」が始まります。年6回シリーズの幕開けを、射水市出身の落語家、立川志の輔が飾ります。

- ◆出演＝立川志の輔
- ◆開演＝15:00
- ◆会場＝オーバード・ホール 中ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込] 4,500円



取扱枚数終了

6/2 Sun 大和証券グループ Presents 佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 with 角野隼斗

新音楽監督「佐渡裕」が贈る新日本フィル白熱のチャイコフスキー。進化し続けるピアニスト 角野隼斗と待望の競演!

- ◆出演＝佐渡裕(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団、角野隼斗(ピアノ)
- ◆演奏曲＝チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番、交響曲第5番
- ◆開演＝14:00
- ◆会場＝オーバード・ホール 大ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込]
S席 11,000円 A席 8,500円
U-25 2,000円(枚数限定)

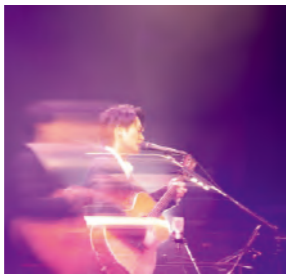


取扱枚数終了

7/5 Fri AUBADE HALL Presents ブラネライブ 尾崎裕哉「Starry Night Concert」

強く優しく心揺さぶる歌声で聴くものを魅了する、尾崎裕哉がブラネライブに5年ぶりに登場! 満天の星空や美しい映像とともに、特別な夜をお楽しみください。

- ◆出演＝尾崎裕哉(ヴォーカル&ギター)
- ◆開演＝19:00
- ◆会場＝富山県科学博物館 プラネタリウム
- ◆料金＝[全席指定・税込]
S席 4,500円 A席 4,000円
ペアシート 9,000円



会員先行発売日: 5月11日(土)のみ / 一般発売日: 5月19日(日) ~

8/4 Sun 「越中ホール寄席 2024」柳家三三独演会

人気落語家が珠玉の話芸を披露するシリーズ企画「越中ホール寄席」。第3弾は江戸落語の旗手、柳家三三が登場します。

- ◆出演＝柳家三三
- ◆開演＝14:00
- ◆会場＝オーバード・ホール 中ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込] 3,800円



一般発売日: 5月4日(土) ~

8/25 Sun 人形劇俳優「たいらじょう」の世界 『お花のハナツクの物語』

世界から称賛されている平常(たいらじょう)による、観客参加型の段ボール人形劇。子どもも大人も夢中になって楽しめる感動の物語。

- ◆出演＝平常(脚本・演出・人形操演)
- ◆開演＝14:00
- ◆会場＝オーバード・ホール 中ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込]
おとな(1階席) 2,000円
おとな(2階席) 1,700円
子ども(18歳未満) 500円
※0歳から入場可能。※2歳以下は膝上無料。



会員先行発売日: 6月1日(土)のみ / 一般発売日: 6月9日(日) ~

U-25: 鑑賞時25歳以下対象の指定席引換券。座席はお選びいただけません。公演当日、当日券窓口で身分証をご提示の上、入場券とお引換えください。
※年齢による入場制限については、各公演で異なります。

情報は2024年3月26日現在のものです。変更となる場合があります。ご来場前にはオーバード・ホール公式HPで最新情報をご確認いただきますようお願いいたします。

6/2 Sun 「越中ホール寄席 2024」立川談春独演会

人気落語家が珠玉の話芸を披露するシリーズ企画「越中ホール寄席」。6月は古典落語の名手、立川談春が出演します。

- ◆出演＝立川談春
- ◆開演＝14:00
- ◆会場＝オーバード・ホール 中ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込] 4,500円



取扱枚数終了

6/27 Thu 市民のためのランチタイム ジョイフル コンサート Vol.95

富山で活躍する音楽家たちによるコンサート。心豊かなランチタイムのひとつ。

- ◆出演＝野上純、發田桃花(ヴァイオリン)、瀬上純介(ピアノ)
- ◆時間＝11:50~12:50
- ◆会場＝富山市民プラザ アトリウム



入場無料

7/13 Sat めざましクラシックス in とやま

初心者からクラシック通まで楽しめる選曲と演奏、高嶋ちさ子&軽部アナによる軽妙なトークをお楽しみに。

- ◆出演＝高嶋ちさ子(ヴァイオリニスト)、軽部真一(フジテレビアナウンサー)ほか
- ◆スペシャルゲスト＝後日発表
- ◆開演＝15:30
- ◆会場＝オーバード・ホール 大ホール

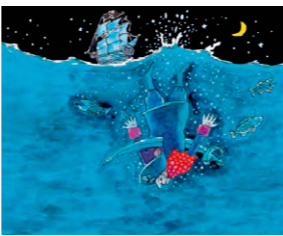


※チケット料金、発売日は決定次第HPでお知らせします。

8/7 Wed 音楽劇『死んだかいぞく』

「生と死」を考える絵本がノゾエ征爾の演出で舞台化! 原作の下田昌克が自ら手掛ける美術・衣裳・小道具デザインにもご注目!

- ◆原作＝下田昌克(ポプラ社の絵本「死んだかいぞく」より)
- ◆脚本・演出＝ノゾエ征爾
- ◆美術・衣裳・小道具デザイン＝下田昌克
- ◆出演＝山内圭哉 ほか
- ◆開演＝①11:00 ②15:00
- ◆会場＝オーバード・ホール 中ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込] おとな 3,500円 子ども(18歳未満) 1,000円
※推奨年齢4歳以上。※2歳以下は膝上無料。

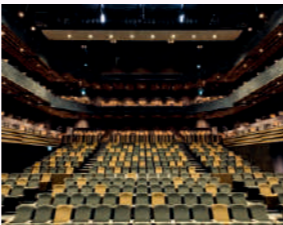


会員先行発売日: 5月25日(土)のみ / 一般発売日: 6月2日(日) ~

New もっと気軽に劇場へ! 2024年度から始まる新企画 / オーバード・ホール×FMとやま ヨリミチマチネ コンサート

平日お昼にワンコインで楽しめるコンサートシリーズが始まります。ラジオの音楽番組を聴く感覚で気軽に楽しみください。

- ◆MC＝垣田文子
- ◆会場＝オーバード・ホール 中ホール
- ◆料金＝[税込] 500円



※出演者・開催日時など詳細は決定次第HPでお知らせします。

オーバード・ホール ラジオ情報

FMとやま「ヨリミチトソラ」内「ヨリミチソワレ」

毎月3回、主催公演の出演アーティストや関係者を迎え、公演の見どころはもちろん、舞台芸術への思いを伺うことで、その素顔を深掘りしていきます。

- ◆FMとやま 82.7MHz
- ◆毎月第1~第3火曜日 18:10頃~



radikoからもお聴きいただけます! ▶



公演ごとにその表情を変え楽しませてくれるオーバード・ホール。その楽しさをより深くしてくれるのが舞台に関わる皆さんのお話です。今春からも好奇心100%で伺っていきますので、番組にも耳を傾けてくださいね。

パーソナリティ 垣田文子

富山シティエフエム「週末☆金曜便」内「週末スポットガイド」

オーバード・ホールのスタッフが生出演。スタッフの視点から主催公演の魅力をお届けします。

- ◆富山シティエフエム 77.7MHz
- ◆毎月第4金曜日 14:05頃~



サイマル放送からもお聴きいただけます! ▶



企画の段階から携わり、公演の裏側を支えているスタッフの皆さんの生の声を聞くことができる機会は貴重です。番組を聞けば、公演の魅力はもちろん、スタッフのみなさんがどれほどの熱量で準備されているのかが伝わり、とてもワクワクします。ぜひ、聞いてみてくださいね。

パーソナリティ 川田知恵美

オーバード・ホール STAFF BLOG

担当者から見た舞台裏

オーバード・ホールHPにスタッフブログがあることをご存じですか? 事業担当がそれぞれの視点で、公演・事業について書き綴っています。企画にかかる思いや準備期間のこと、舞台裏の様子、ここでしか見られない写真など。オーバード・ホールやそこで働くスタッフのことがもっと身近に感じられるかもしれません。ぜひ、この機会にお読みください。

オススメ記事

中ホールで「人形浄瑠璃 文楽」を!

舞台の仕込みの様子から楽屋風景まで。オーバード・ホールでの「文楽」上演への思いをあたためてきた担当者が、様々な写真を添えてレポートします。桐竹勘十郎さんによる直筆イラストも必見! 担当者/N.Y. 2023.11.29 『人形浄瑠璃 文楽』



記事はこちらから
お読みいただけます。▶



チケット購入方法	インターネット	電話予約	窓口販売
アスネットカウンターでお買い求めください。	アスネットオンラインチケット www.aubade.or.jp 24時間予約可能 ※ご利用の際には会員登録が必要です。	アスネットカウンター(オーバード・ホール 大ホール 1F) TEL. 076-445-5511 10:00~18:00 定休日: 月曜(月曜が祝日の場合、翌平日休み)	

新規会員募集中!

オーバード・ホール会員システム「アスネット」

お得に楽しくシアターライフを満喫するためのオーバード・ホール会員システム。ご登録いただくと、インターネットで24時間チケットのご予約が可能です。「アスネット」には、「アスネット会員」「メール会員」2種類の会員システムがあります。

入会方法

インターネットからお申込
(オーバード・ホール HPより)

アスネットカウンター
窓口でのお申込
(オーバード・ホール 大ホール 1F)

アスネット会員 (年会費: 1,800円)	特典 公演チケットの 先行販売	公演チケットの割引販売 10%OFF	Mite Miteや 公演情報の送付	メール会員 (年会費: 無料)	特典 公演情報の メルマガ配信
--------------------------	---------------------------	------------------------------	-----------------------	--------------------	---------------------------

※特典については1公演につき通常4枚まで。対象外の公演もございます。

オーバード・ホール×富山ステーションシティ チケット半券サービス!

オーバード・ホール(富山市民文化事業団)主催公演の半券チケットで、ショッピングクーポンやポイントがもらえる! サービスの詳細や対象公演はこちら▶



公演当日および翌日
チケットを持って

マルート
(インフォメーションカウンター)へ!

TICKET

「マルート」
「とやマルシェ」
「マリエとやま」で使える
200円分の
クーポンがもらえる!

COUPON

エムプラスカード
または
アプリ画面提示で
ポイントがたまる!



大ホール

- 4** 17(水) THE ALFEE 問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
- 20(土) 桐朋アカデミー・オーケストラ 第68回定期演奏会 問 桐朋学園音楽部門 富山グループ教学チーム：076-434-6800 **アスネット**
- 5** 11(土) 松山千春 コンサート・ツアー 2024「友よ」 問 FOB金沢：076-232-2424
- 18(土) 桐朋学園大学院大学 桐朋アカデミー・オーケストラ コンチェルト実習コンサート 問 桐朋学園音楽部門 富山グループ教学チーム：076-434-6800
- 25(土) 第47回富山県立富山南高等学校吹奏楽部 定期演奏会 問 富山県立富山南高等学校：076-429-1822 **アスネット**
- 26(日) 山崎育三郎 全国TOUR2024「THE HANDSOME」 問 エンタメスタイル：076-256-5538
- 6** 2(日) 大和証券グループPresents 佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団 with角野隼斗 問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
- 15(土) 桐朋アカデミー・オーケストラ 第69回定期演奏会 問 桐朋学園音楽部門 富山グループ教学チーム：076-434-6800 **アスネット**
- 7** 13(土) めざましクラシックス in とやま 問 富山テレビ放送事業局：076-492-7106 **アスネット**
- 27(土) 岡本知高 Concerto del Sopranista 2023-2024 問 MIN-ON中部センター：052-325-5495 **アスネット** ※4/18(木)発売

中ホール

- 4** 16(火) KNB女性セミナー発会式 問 KNB女性セミナー事務局：076-432-5555
- 20(土) 「越中ホール寄席 2024」立川志の輔独演会 問 北日本新聞社事業部：076-445-3355
- 25(木) 富山市中央倫理法人会 令和6年度倫理経営講演会 問 一般社団法人倫理研究所 富山市中央倫理法人会事務局：076-441-1577
- 27(土) ヘルン文庫が富山に来て100周年記念フォーラム 問 牧野(美) 富山八雲会チーフリーダー：090-5681-6436
- 5** 4(土) 第28回中川モダンバレエアカデミー開所50周年記念発表会 問 中川モダンバレエアカデミー：076-429-2031
- 6(月・振) フラフェス とやま 2024 問 富山アロハ協会：090-1394-9261
- 14(火) KNB女性セミナー 5月例会 問 KNB女性セミナー事務局：076-432-5555
- 18(土) フロリアン・ゼレール2作品連続上演『Le Fils 息子』 問 富山市民文化事業団：076-445-5610 **アスネット**
- 19(日) フロリアン・ゼレール2作品連続上演『La Mère 母』 問 富山市民文化事業団：076-445-5610 **アスネット**
- 6** 2(日) 「越中ホール寄席 2024」立川談春独演会 問 北日本新聞社事業部：076-445-3355
- 29(土) 半崎美子 明日を拓くコンサート2024 問 チューリップテレビ 営業局：076-444-8888
- 7** 14(日) 劇団みろく座 第3回本公演 問 劇団みろく座：090-7599-5761 **アスネット**
- 21(日) 島田純子フラメンコ教室ALEGRIA 第15回フラメンコ公演 問 島田純子フラメンコ教室ALEGRIA：090-5459-0767 **アスネット**

オーバード・ホール公式SNSでは、主催公演などの最新情報を随時アップしています。ぜひフォロー&いいね!してください♪



交通のご案内
 鉄道利用：富山駅下車、北口正面から徒歩3分
 航空利用：富山空港よりタクシーで約25分、バスで富山駅まで約30分
 お車利用：北陸自動車道 富山I.C.出口から約20分



オーバード・ホール(富山市芸術文化ホール)
 大ホール 〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28
 中ホール 〒930-0858 富山県富山市牛島町9-17

TEL.076-445-5620
<https://www.aubade.or.jp>

Q オーバード・ホール

最新情報はHPをご覧ください



ミテミテ79-2024.spring号
 発行日：2024年4月15日
 発行所：公益財団法人 富山市民文化事業団
 TEL.076-445-5610
 企画・編集：Mite Mite編集室
 Design：CROSS Cover Photo：イマテラガク